

スポーツの力

～する・みる・ささえる～

アーバンスポーツ

皆さんは「アーバンスポーツ」をご存じですか。公園などの都市空間を活用したスポーツで、スケートボードやBMX、スポーツクライミングなど多くの種目があります。昨年開催された「東京2020オリンピック大会」では新たに正式種目に採用され、スケートボードでは日本代表選手が金メダル3個、銀メダル2個、銅メダル2個を獲得したこともあり注目を集めました。

9月に岡山県で開催された「第6回全日本BMXフリースタイル選手権大会」に市内の小学生が出場するなど徐々に新しいスポーツとして競技者が増えつつあり、今後のアーバンスポーツの盛り上げりに期待しています。



写真提供：(一)全日本フリースタイルBMX連盟 理事 田邊 泰志さん

一方、全国的に愛好者が増加傾向にあるものの専用施設があまりないなどの課題も明らかになっており、今後の実施環境の整備にむけた検討が必要です。

【問い合わせ】 スポーツ振興課
☎ 22-9635 FAX 22-9694
✉ sports@city.iga.lg.jp

伊賀の歴史余話

上野城天守の上棟式

26

現在の上野城（伊賀文化産業城）は、昭和10（1935）年に代議士の川崎克が復興させたものです。完成前に行われた上棟式について記した文献や写真などが残されていますが、それに加えて、今回新たに上棟式の様子を撮影した16mmフィルムが発見されました。

上棟式は、昭和8（1933）年11月19日に県知事や県選出代議士、県会議員などを多く招き、施主の川崎が主となって行われました。

当日の朝、車坂町にある川崎邸に支援者の会である大阪克堂会や工匠らが参集し、午前10時30分頃に行列をなして町中へ練り出しました。途中、菅原神社（上野天神宮）を通過して上野公園へと向かい、式が始まるまで万歳館で待機しました。

午後1時から上棟式が執り行われます。一行は天守閣へ登る棧橋を渡って大棟へと上がります。式は下壇と上壇のそれぞれで執り行われました。

まず行われたのは下壇での根柱祭り、式は簡略化し「修祓の儀」と「切麻散米の儀」のみが執り行われました。どちらも人と土地を祓い無事を願う儀式です。

次に上壇では、古式にのっとり参



▲新たに発見された16mmフィルム

文化財課歴史資料係
☎/FAX 41・2271

市ホームページ YouTube

列者一同が着席し、塩撒きや供物奉納、工匠長への祓い、上棟祝詞、玉串奉奠、棟木を打ち固める棟榿の式の順に行われました。その後工匠長が礼拝し、施主と参列者の順に御神酒をいただきます。一同の拍手と礼拝にて儀式を終え、集まった人びとへの餅撒きで上棟式が終了となります。

当日公園内には大勢の見物人が訪れており、また町では諸芸大会などが行われ、花火が上がりました。式の盛大さや町全体で盛り上がりつつある様子が見て取れます。

新たに発見された映像は、伊賀市公式YouTube（忍者市チャンネル）で公開中です。また、映像の解説を市ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

命と人権 ～EKIDEN for LIFEに参加して～

エキデンフォーライフ

「がんばって！」
たくさんの温かい声援と拍手に包まれ、私たちは走り続けました。

過日、私は「第28回生命の駅伝～EKIDEN for LIFE～」に市民ランナーとして参加しました。この活動はがん研究支援のための募金活動と啓発を目的としたチャリティーランです。がんで右足を失ったカナダの青年が、一人ひとりから1ドルをがん治療のために寄付してもらおうと、義足で毎日フルマラソンを走り、募金を訴え続けたことがきっかけで始まりました。この取り組みに賛同し、少しでも力になりたいと考えた私は、今回市役所をはじめ医療機関など約30kmを命の旗を背に駆け巡りました。各施設や沿道でたくさんの人から温かい励ましの言葉をいただき、人とのつながりの重要性とともに、この駅伝のテーマである「命」の大切さについて深く考えるきっかけになりました。

私たちは、自分ひとりで生きているのではなく、さまざまな形でさまざまな人に支えられて生きています。このことをしっかり受け止め、お互いを尊重することの大切さと命の重さを心に刻まなければなりません。自身の置かれた立場を理解し、支え合う社会の実現こそ、今最も大切にすべきことではないでしょうか。

12月4日から10日は人権週間です。命を大切にし、幸せに生きる権利、「人権」について今一度考え、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、今後もさまざまな形で支え合える活動をみんなで推進していければと思います。

私は「生命の駅伝」に参加したことにより、このような支援の輪が今後も広がり、深まってほしいと改めて感じる事ができました。そして「誰一人取り残さない」未来へのゴールに向けて一歩一歩共に歩んでいきたいと思っています。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

IGAMONO セレクション No.32

【問い合わせ】 商工労働課 ☎ 22-9669 FAX 22-9695

伊賀を代表する食材はたくさんあります。中でも、越前すしでは、伊賀米を酢飯に、伊賀牛を世界中の人に愛されるすしネタとしました。気軽に観光しながら食べることができ、ごみゼロになるよう、えび煎餅の上に載せて提供しています。すこぶるおいしい伊賀牛にぎり寿司をぜひご賞味ください。



伊賀牛にぎり寿司



越前すし 倉本 忠司さん

新鮮なネタは、長年の経験と目で見極め、郡山中央卸売市場から仕入れています。江戸前寿司はもちろんのこと、サラダやカルパッチョ、天ぷらなど、四季折々、旬の豊富な素材を楽しんでいただけるよう心がけています。また、地元の代表的な食材の牛肉も、心ゆくまでご堪能ください。

IGAMONO オンラインストア

IGAMONO online store
オンラインストア